



脚の付け根が膨らむ方は、

鼠径（そけい）ヘルニア外来へ！

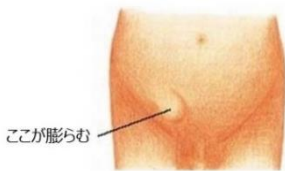
伊地知正賢（一般外科医長）



立ったり歩いたりした時に、脚の付け根（鼠径部）が膨らむことはありませんか？横になると引っ込むのに立つとまた膨らむ・・・このような場合、“鼠径ヘルニア”が強く疑われます。

鼠径ヘルニアって何？

鼠径ヘルニアは、俗に“脱腸”と呼ばれる良性の病気で、男性に多いですが、女性にもみられます。加齢などで鼠径部の筋膜が弱くなるのが原因で、弱くなった所からお腹の内面にある膜（腹膜）が袋状に伸びだし、ここに腸などの臓器が出るために膨らむわけです。片側の場合もあれば、両側の場合もあります。



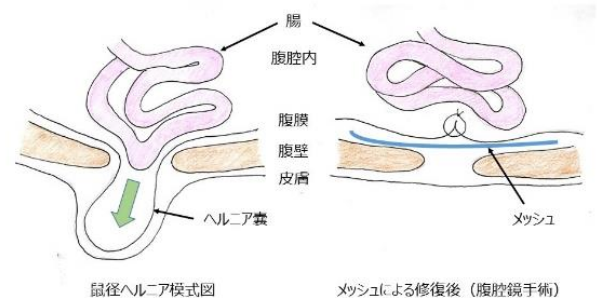
放っておいてもいいの？

ヘルニアが小さいうちは、しばらく様子を見てよいですが、大きくなると、痛みが出たり、戻りが悪くなったり、男性では陰嚢まで腫れてきたりします。生活に支障を来す場合はもちろん、そうでなくとも一度専門的な診察を受けることをお勧めします。また、腸が大きく脱出し元に戻らなくなった状態を“嵌頓（かんとん）”と呼び、時間の経過とともに腸壊死の可能性が高くなります。普段より大きく膨らみ痛みが強い場合は早急に受診してください。

治療は？

手術以外に治療法はありません。薬では治りませんし、腹筋を鍛えても伸び出した膜は元に戻りません。逆に嵌頓を誘発するおそれがあるので、過度に腹圧をかける運動は控えた方がよいでしょう。

手術は、①伸び出した腹膜の袋をもとに戻し、②弱くなった筋膜を“メッシュ”という人工線維布を用いて補強します。手術法には、膨らむ側の鼠径部を切開して行う“鼠径法”と、お臍に小さな孔をあけて行う“腹腔鏡手術”があります。腹腔鏡手術は2年前に導入し、キズが小さいため痛みが少なく、反対側に小さなヘルニアがあった場合に同時に手術が可能というメリットがあり、最近では7割以上の方に行っています。



“嵌頓ヘルニア”以外は待機的な手術の適応です。当院では約5日間の入院治療を基本としていますが、患者さまの都合を踏まえた上で予定を組むことが可能です。

鼠径ヘルニア専門外来

毎週木曜日 14:00～ 場所：外科外来

問合せ・予約先：外科外来受付（14時～17時）

☎03-3364-0251

当院では毎週木曜日の午後に、鼠径ヘルニア専門外来を開いています。ヘルニアの診断だけでなく、生活上の注意点や手術法の違いなど、時間をかけて説明しています。どうぞ気楽に受診下さい。